

# 令和5年度 学校評価（前期）まとめ

項目	<span style="color: blue;">●</span> 色教師アンケート項目 <span style="color: yellow;">●</span> 色生徒アンケート項目 <span style="color: pink;">●</span> 色保護者アンケート項目		<span style="color: blue;">■</span> そう思う <span style="color: green;">■</span> ややそう思う <span style="color: yellow;">■</span> ややそう思わない <span style="color: red;">■</span> そう思わない			肯定否定割合		総合評価		
	番号	具体的な評価内容	自己評価割合（％）			肯定％	否定％			
Ⅰ 教育目標について	①	学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。	46	54	0	100	0	B		
	②	若草中学校は、常にP→D→C→Aサイクルに基づいた教育活動にとりこんでいる。	25	75	0	100	0	B		
	③	目指す生徒像	「自ら学び、深く考える児童生徒」を育成している。		46	54	0	100	0	B
	④		「心豊かで、思いやりのある児童生徒」を育成している。		46	54	0	100	0	B
	⑤		「健康で、たくましい児童生徒」を育成している。		33	63	4	96	4	B
	⑥		「意欲を持ち、最後までやり抜く児童生徒」を育成している。		41	56	4	96	4	B
	考察		年度初めの職員会議で確認した学校経営方針に基づき、教育課程全体において先生方が熱心に取り組んでいる。先生方が、授業の開始チャイム前には教室で待機、「若中スタンダード」「語先後礼」「ICT活用」など、学力向上に向けた取組も熱心に行われている。生徒理解はもちろん、生徒の自主自立を重んじた育成が行われており、「若中スタンダード」「地域貢献活動」「SDGs活動」「若草みまもり隊」「ラジオ体操」など地域につながる活動を通して、「信頼される学校」を目指して全職員で取り組んでいる。 前期ということもあり、PDCAにおいてまだチェックまでたどりついていない項目もあること、コロナ自粛で体力回復期間中であることなどが②⑥の項目に表れているのではない。							
	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校の視点を持ち、人事評価における改善点により積極的に研修に参加したり、学年担任制を活用し職場内での意見交流により各自の教師としての質を高める。</li> <li>・学校行事や特別活動におけるPDCAサイクルを意識した取組を行う。学校評価の各アンケートの結果を真摯に受け止め、今後の改善に役立てる。</li> </ul>								
	学校関係者評価委員会意見	昨年度後期に、質問項目数を2つに減らしたはずである。経年変化を見ることも大切であるが、重点化していく方向で考えてほしい。学年担任制により、多くの先生方に声掛けをしてもらえることにつながり、先生方の努力がうかがえる。								
	Ⅱ 校務分掌について	①	職務内容を十分理解し、責任を持って仕事にあたっている。	64	32	4	96	4	A	
②		自分の分掌と他の人の分掌との関連を考え、相互に連絡・協調している。	54	36	11	89	11	A		
③		分掌の達成状況、改善点などを管理職に「報告、連絡、相談、確認」している。	46	50	4	96	4	B		
④		管理場所の安全点検を行い、常に適切な安全管理に努めている。	56	44	0	100	0	A		
⑤		職員会議や校内研究会に積極的に参加し、決定事項を実践している。	56	41	0	96	4	A		
考察		総合評価はおおむね良好である。分掌をあまり意識せずに、全職員がすべての業務にかかわり合っているため、連絡・協調が複雑になっているのではないかと懸念する。全職員で物事にあたるとは素晴らしいことだと思うが、企画・準備は担当組織が行い、運営委員会を通して連絡・協調を図っていく必要があると思う。								
改善		<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職、主幹、生徒指導主事、学年主任間の情報交換のさらなる意識化をする。（運営委員会）</li> <li>・主担当1人だけに分掌を任せるとはせず、顧問団・推進委員などの組織内で職員同士のコミュニケーションをはかり、持続可能な取組のためにさらなる充実を各職員が意識する。（教師の意識化）</li> </ul>								
学校関係者評価委員会意見	②について、先生方の忙しさから連絡・協調にかかる時間が取れていないことがわかる。業務を精選する中で、時間的・精神的なゆとりを生み出すことが必要であると感ずる。									

Ⅲ 学習指導・進路指導について

①	基礎・基本の定着を図る授業を行っている。		100	0	A
生11	先生方は、わかりやすい授業をしていると思いますか。		94	6	A
保11	先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。		91	9	B
②	生徒の思考力・判断力・表現力、学習意欲を向上させる教科指導のあり方や教育内容の工夫改善に努めている。		100	0	B
生14	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。		96	4	A
保14	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。		93	7	B
③	研究主題を意識し、生徒に興味関心を持たせる課題設定や、めあての提示をしている。		96	4	B
生12	先生方は、毎回、学習の見通しが立てやすいようなめあてを示していますか。		96	4	A
保12	先生方の提示する「授業のめあて」は、お子さんが学習の見通しを立てることに役立っていると思いますか。		85	15	B
④	「学び合い」のある授業を実践している。		88	12	B
生13	先生方は、一人一人の考えを大切にしたり、学び合いのある授業を進めていると思いますか。		96	4	A
保13	先生方は、一人一人の考えを大切にしたり、学び合いのある授業を進めていると思いますか。		91	9	B
⑤	少人数グループや習熟度別授業の実施、また、発展的な内容を取り入れるなど、個に応じた指導を行っている。		85	15	B
生14	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。		96	4	A
保14	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。		93	7	B
⑥	指導と評価の一体化を心がけ、生徒の意欲や自信につながる評価を行っている。		100	0	B
生15	先生方は、いろいろな場面で、あなたが努力したことを認めてくれますか。		90	10	A
保15	先生方は、お子さんの努力したことを認めてくれて、さまざまな面から評価していると思いますか。		95	5	B
⑦	生徒が自らの生き方について考え、正しい職業観を身に付けることができるように進路指導を行っている。		96	4	B
考察	<p>上記項目について、肯定回答が自己評価はすべて85%以上、生徒評価はすべて90%以上、保護者評価もすべて85%以上を占め、十分に達していると考えられる。しかし、100%を目指し、努力を怠らないことが大切である。</p> <p>先生方の「そう思う」の割合が抑え気味であるのは、自己に対して「もっとできた」という自負の表れか。保護者については、生徒が家庭であまり学校のことを話さないことの影響ではないだろうか。生徒の「そう思う」の回答率は全体的に高く、十分効果が出ていると思う。</p> <p>保護者については「学校のことについて」の質問項目は、30%近くが分からないと回答していた。</p>				
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト前の学習会の充実と補習授業等の計画（各学年）放課後学習会の定期的な開催を続けていく。</li> <li>・生徒から高い評価が付いている。今後も生徒との人間関係も深めつつ、より生徒の意欲が高まる授業の工夫・改善に努めていくことが大切である。（校内研究の充実）</li> <li>・先生方がすべての項目においてA評価となるよう、校内研究や情報交換の充実を図ることが大切。（校内研究の充実）</li> <li>・保護者については、高評価ではあるがB評価となった。今後は学校開放日などコロナ対策を取りながら行い、授業の様子等を保護者が見る機会を増やしていく必要がある。「説明責任の果たせる」取組が大切である。</li> <li>・キャリア教育を充実するため、教材の引継ぎや共有できる体制を構築する。</li> </ul>				
学校関係者評価委員会意見	<p>自己評価と生徒・保護者アンケートの結果に差が少ないことは、学習指導が良くできているという証拠ではないか。先生方は自身に厳しい評価をしがち、保護者は学校の様子がわからないこともあり、高評価を付けないもの。そんな中、生徒の評価はかなり信ぴょう性があるものと考え、すべての質問項目においてA評価が得られていることから、学習指導という学校の根幹に関して、先生方がとても力を入れていることが良くわかる。継続していってほしい。</p>				

IV 生徒指導・ 道徳指導 について	①	生徒理解のために生徒とのコミュニケーションを図る努力をしている。	63	33	40	96	4	A	
	生16	先生方は、生徒の意見をよく聞き、相談に乗ってくれていると思いますか。	62	28	81	91	9	A	
	保16	先生方は、相談や悩み事について、適切に応じてくれると思いますか。	41	48	83	89	11	B	
	生17	心配ごとや相談ごと、または日常生活の中で、話ができる先生がいますか。	53	25	14	8	78	22	C
	保17	お子さんは、心配ごとや相談ごと、または日常生活の中で、話ができる先生がいますか。	30	47	16	7	77	23	C
	②	基本的な生活習慣、生活のルールや決まりを身につけさせる指導を行っている。	67	33	0	100	0	A	
	生8	あなたは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。	54	32	10	4	86	14	A
	保8	お子さんは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。	54	33	10	3	87	13	A
	③	一人一人のよさを認め合う態度、望ましい人間関係を育てる指導を行っている。	63	37	0	100	0	A	
	④	生徒支援委員会（生徒指導部会、ケース会議含む）は、組織的・計画的に運営され、有機的に機能している。	33	63	4	96	4	B	
	⑤	道徳の授業を年間計画に沿って実践し、道徳の実践力を高めるための指導を授業以外でも日常的に取り組んでいる。	32	68	0	100	0	B	
	生18	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	64	31	51	94	6	A	
	保18	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	39	51	7	3	90	10	B
	⑥	不登校やいじめについて、積極的な情報収集を行い、早期発見・早期対応を意識して取り組んでいる。	52	48	0	100	0	A	
	考察	<p>生徒一人ひとりが安心して、学校生活を送れるよう先生方が努力している姿勢がうかがえる。生徒・保護者とも16の「先生方が相談に乗ってくれる」は、高評価のA・Bであるが、生徒・保護者17の「日常生活の中で話ができる先生がいる」がともにC評価である。先生方が思っている以上に生徒は先生方との日常的な交流を求めている。反面、先生方の忙しそうな一面を見て、遠慮している部分もあるのではないかと。業務を整理し、一層生徒に寄り添う指導が求められている。</p> <p>不登校やいじめは学校が解決しなくてはならない喫緊の課題である。不登校については、特に中1ギャップが多いといわれており、小中連携がとて大切である。また、外部機関（SC、SSW、支援学校等）との連携も大切である。</p> <p>「いじめは絶対にゆるさない」という強い姿勢を先生方は持っており、道徳指導はもちろん、アンテナを高くし、教職員の情報収集と情報交換も頻繁に行われ早期発見・早期対応に努めている。近年SNS関連のトラブルが多く、学校外の事案がほとんどであるが、素早い情報収集を行い、拡大防止を果たしている。</p>							
	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務を見直し、授業中だけでなく、休み時間等に生徒と日常会話が行える時間を増やす。（働き方改革）</li> <li>・今後もひとり一人の生徒を大切にしたい対応を続けていく。（生徒理解と生徒情報交換の大切さを全職員が意識化）</li> <li>・チームとして対応が必要な場合の組織を強固にする。（学年主任、生徒指導主事、養護教諭、SC、SSW等関係職員）</li> <li>・いじめはどこでも誰にでもおこりえるというスタンスを常に持ち、早期発見・早期対応に努める。（教師の意識化）</li> <li>・新たな不登校を生まないための取組を、今後も継続していく。（生徒理解・小中連携・生徒支援委員会等）</li> </ul>							
	学校関係者評価委員会意見	<p>教師が生徒と友達である必要はないので、日常生活で生徒が先生方と話をする必要はないと考える。話せば話すほど伝わらないということもある。大切なのは、必要な生徒に必要なことを話すことである。生徒の、他者と関わる力・会話力が、コロナの影響もあり、下がっていると思うので、関わり方の練習なども学校がしていく必要があるかもしれない。</p>							
	V 特別活動 について	①	生徒の自主性を育成し、学級や学年、学校生活の充実を図るための指導を行っている。	38	58	40	96	4	B
②		さまざまな行事や活動を仕組み、達成感や成就感が満たされる内容を工夫している。	38	54	80	92	8	B	
生19		学校の行事や生徒会の行事など、学校の行事は充実していると思いますか。	66	27	52	94	6	A	
保19		子供たちが活動する学校の行事は充実していると思いますか。	31	60	72	91	9	B	
③		朝読書や図書館の活用を積極的に進め、豊かな感性の育成を図っている。	31	58	12	0	88	12	B
④		充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている。	24	72	0	96	4	B	
考察		<p>行事が少しずつ通常に戻りつつあるためか、生徒評価が高評価となっている。まだ完全復活しているものばかりではないが、先生方が生徒に満足感や達成感を味わってもらえるよう、愛情を持って生徒に寄り添っていることがわかる。保護者に関しては、まだ授業参観や行事の参観を遠慮されている方も多いようなので、今後の積極的な公開で直接参観してもらえる機会を増やしていきたい。</p> <p>一日の始まりが静かで落ち着いた雰囲気からスタートする朝読書は、授業への集中力の高まりや穏やかな生活につながっていると思われる。家庭での読書時間が少ないことが全国学習状況調査から分かるので、読書習慣の一助にしていきたい。</p>							
改善		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の目的や意義、取り組み方を全職員で共通確認をする。（各行事ごとにPDCAサイクルにて検証と改善を含む）</li> <li>・学校での活動の様子が保護者に伝わるよう各種たより、HPの充実に取り組む。（各担当者）</li> <li>・朝読書の時間を、生徒も教師も全員が本を読む時間にする。（職員の意識化）</li> <li>・委員会や生徒会活動は、本部一極集中にせず、持続可能な取り組みにしていく。</li> </ul>							
学校関係者評価委員会意見		<p>コロナの影響で途切れてしまっていた行事などを再開させるには大変な労力が必要だと思う。先生方の努力に頭が下がる思いである。引き続き、コロナ対策を十分につつ、可能な限り行事などの活動を充実して欲しい。</p>							

VI 家庭・地域との連携について	①	地域や保護者からの情報や要望を真摯に受けとめ、日々の教育活動に反映できるように努めている。	39	61	0	100	0	B	
	②	さまざまな学習活動で、地域の施設を利用したり、地域の人々に協力を要請するなど、地域連携を深めている。	8	77	12	4	85	15	B
	③	学校・学年・学級だより等の諸たよりを定期的に発行し、またホームページを活用して、学校や生徒の様子を積極的に公開している。	27	50	12	12	77	23	C
	生20	学校は、いろんなたよりやホームページなどで、出来事を積極的に連絡し、また公開していると思いますか。	54	37	7	2	90	10	A
	保20	学校は、各種たよりやホームページなどで、積極的に情報公開を行っていると思いますか。	36	49	11	3	85	15	B
	考察	各学年ともに保護者との連携を大切に、生徒の良き成長を願っている。保護者等からのアドバイスにはよく耳を傾け対応を行っている。たよりについて各クラス、各学年、各担当で、それぞれの思いや願いを込めて適切な時期にたよりを発行している。多くの情報が、適切な形で保護者に伝わることは、お互いの信頼関係を高めるうえで効果的に働き、開かれた学校づくりに大きく役立っている。 ホームページへのたよりの掲載が、学年・学級によってかなりの格差がみられるので、早急に対応していきたい。							
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種たよりの継続的発行と内容の工夫改善、ホームページへの掲載を行う。(各発行者)</li> <li>ホームページ等のさらなる更新を行う。(情報管理主任が声掛けをし、担当が積極的に更新していく)</li> </ul>								
学校関係者評価委員会意見	メールでのたよりの配信は、なかなか紙のたよりを渡してくれない家庭にとってはありがたいので、手間だとは思いますが今後も継続して欲しい。メールやHPに情報があると、必要なものだけ取り出すことができ便利である。反面、学級通信などは生徒の写真も多数掲載されており、HPでの配信は難しいと思うので、紙で届けるしかないと思う。地域との連携にも多くの時間がかかり、なかなか実践は難しいであろう。「地域との連携を大事にしなければ」という気持ちを大事にしてくれていれば「よし」とする部分であってよいのではないか。								
VII 自身と職場について	①	学校へ来ることが楽しかった。	14	68	14	4	82	18	B
	生1	あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。	63	27	6	4	90	10	A
	保1	お子さんは、毎日元気に学校に通っていますか。	69	24	5	3	92	8	A
	②	授業や生徒のことなど、必要な時に職場で話げできた。	43	46	11	0	89	11	B
	③	子供たちに信頼される教師であった。	8	80	12	0	88	12	B
	④	教師としての力量を高めることができた。	19	69	12	0	88	12	B
	⑤	教師集団として、一つにまとまることができた。	8	81	12	0	88	12	B
	⑥	学校には、教育活動に必要な施設・設備が整っている	0	36	39	25	36	64	C
	生21	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	53	36	9	2	89	11	A
	保21	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	20	52	24	4	72	28	C
	考察	職員室では、生徒の頑張りや心配になる点など、学年を超えて話が行われ、常に生徒のより良き成長を願っている姿勢がある。生1の「あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。」がA評価ではあるが、10%ほどの生徒が否定意見を出している。今後も一人も取り残すことなく、生徒理解に努めることが大切である。 生活に必要なトイレ、水飲み場が少ない、また学校の老朽化は非常に大きな問題であるが、その解消のためには莫大な予算が必要である。要求は今後行うが現時点では限られたスペースや施設・設備に手を入れながら、改善改良や対応を探る方策を考えていく必要がある。地域や保護者と連携を取りながら、生徒や先生が過ごしやすい環境づくりが出来たらよいと思う。今できる環境整備を行い、少しずつ改善できたらよいと思う。 一方生徒の施設・設備への満足度が高いことは、他の環境を知らないからであると思うが、生徒のほうがSDGsを意識した生活が行えているのかもしれない。今後も生徒には不便を感じさせず、満足のいく教育環境を維持していけるよう努めたい。施設・設備は多少古くても、生徒が生き生きと学校生活を送れるよう、中味で勝負する若草中学校であり続けてほしい。							
	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の育成、理解のためには学年を超えた情報交換を今後も行う。(生徒指導・学年主任・教師の意識化)</li> <li>教師としての力量を高めるため、専門性や総合的なコミュニケーション能力を高める努力を続ける。(教師の意識化・管理職・主幹・学年主任・モデルリーダー)</li> <li>今後も各学年を中心に教室環境、フロア環境を整える。</li> <li>必要なものを年次計画で継続して請求していく。(施設・設備については教頭、各種備品については教科主任、その他必要な物品については各担当が責任を持って請求する)</li> </ul>							
	学校関係者評価委員会意見	今年は特に暑い日が続き、電気代も高騰し大変だと思う。エアコン使用規定等もあると思うが、柔軟に対応してもらいたい。特別教室のwifi設置を推進していくべきである。そもそも校舎の建て替えが必要なのではないか。いくら「中身で勝負する若草中学校」といっても、トイレの数や更衣室の未設置など課題が多すぎるのではないか。引き続き市への要望をお願いしたい。							